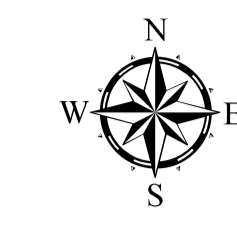
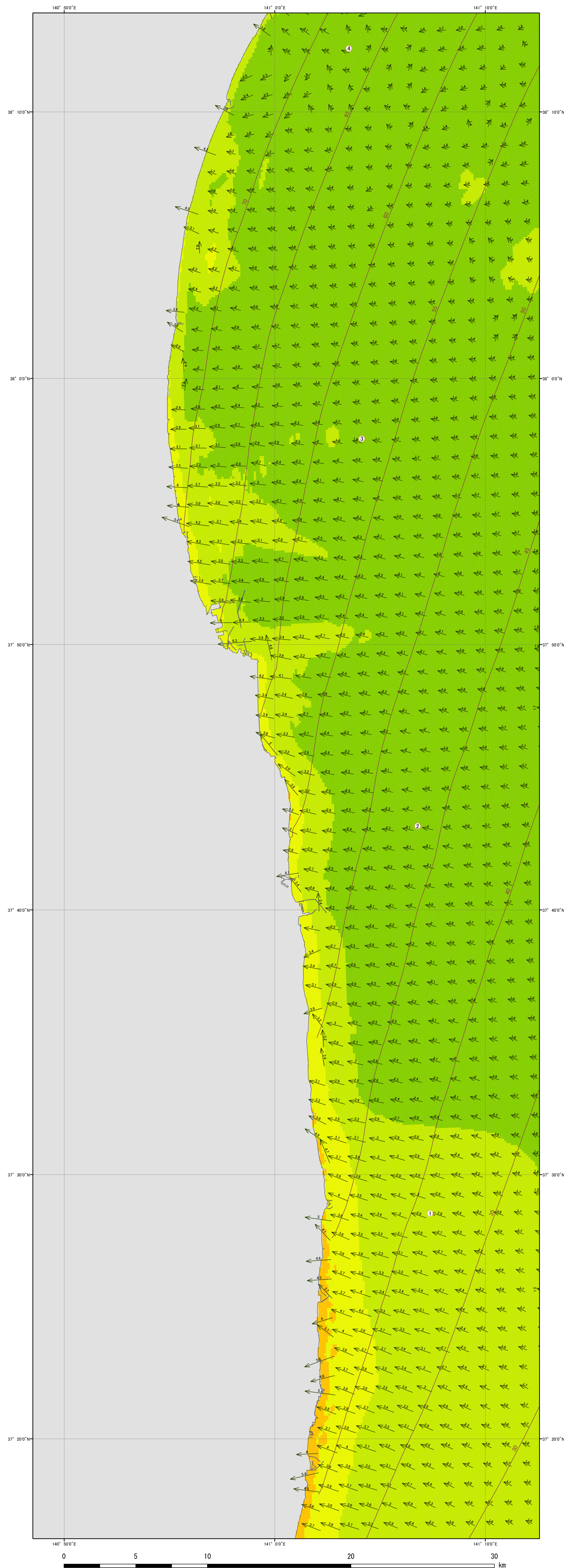


計算条件：最高水面(零位)
隆起量：平均 -0.03m(-0.09m ~ -0.01m)
Z0：0.88m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

— 水位上昇(+10cmとなる等時線[分])

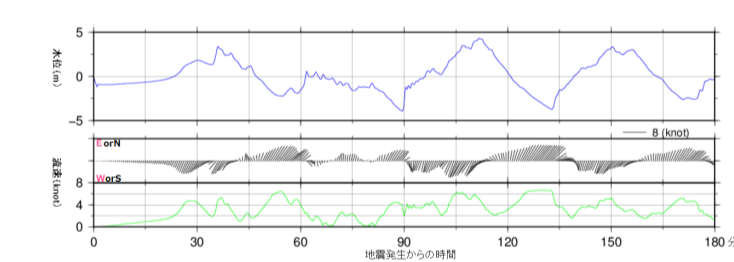
最大水位上昇



○ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)

○ 水位、流向・流速経時変化図



進入時最大流 [knot]

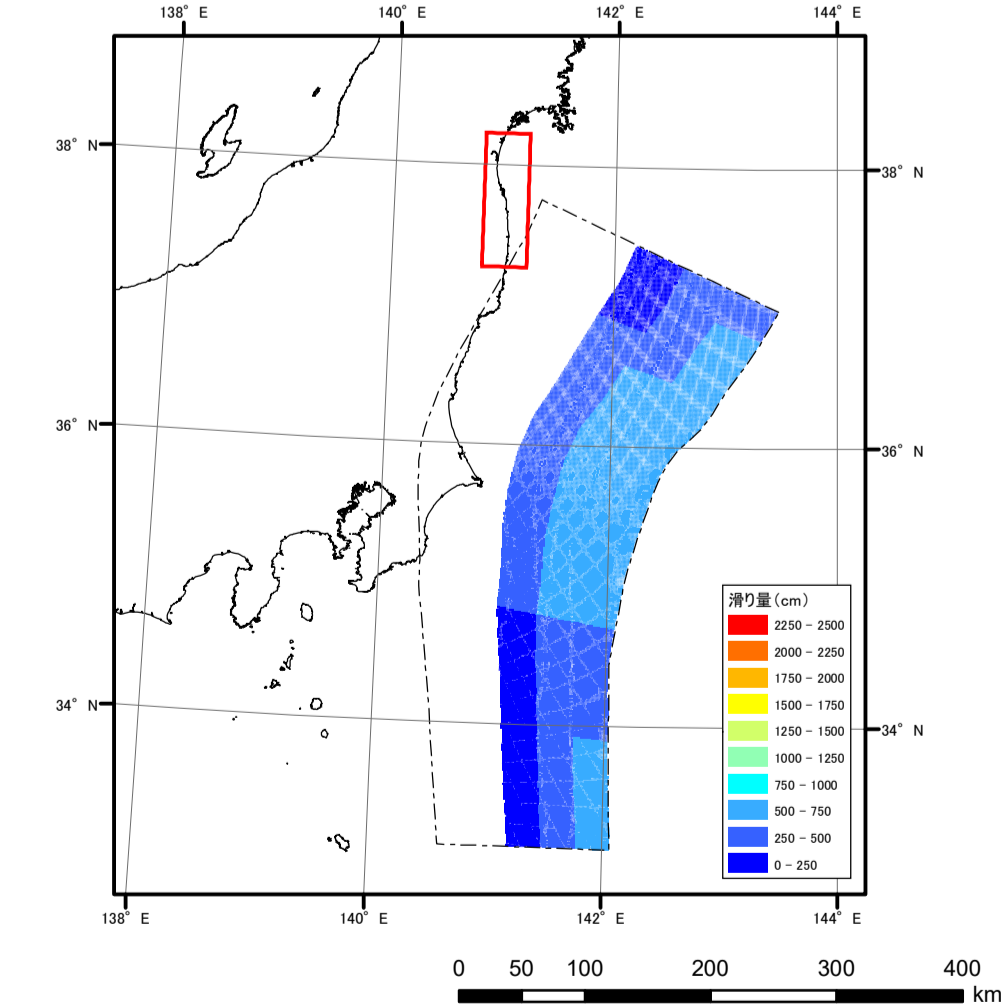


○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を表示している。

○ 流向・流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
図面編纂作成年月：平成29年7月(初版)
地図データ作成年月：平成29年1月(初版)